

# 授業実践ギャラリー

避難訓練

「Jアラート対応訓練」





爆風などの衝撃に備えて、「ダンゴムシのポーズ」をとることが有効です。

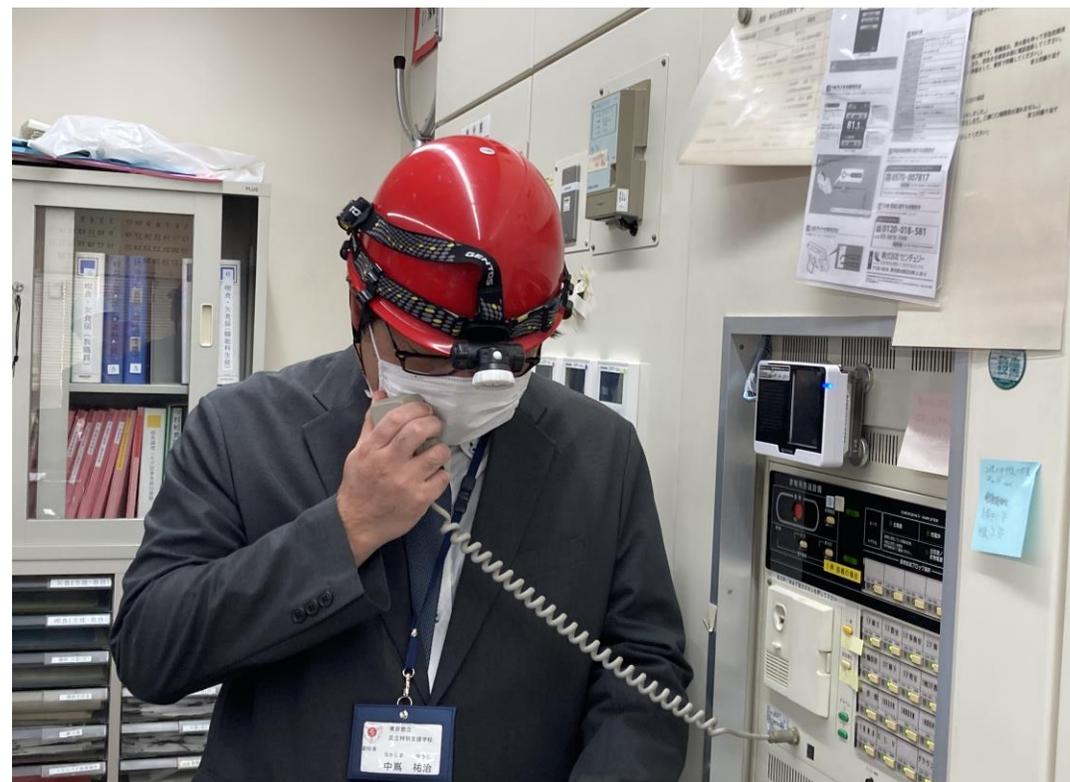
「Jアラート」をご存じでしょうか？  
全国瞬時警報システムのことで、緊急地震速報なども含まれます。  
今回の訓練はJアラートの国民保護情報、いわゆるミサイルなどの飛翔体を確認されたときに発出されるものを想定しています。  
Jアラートが鳴ったら、頑丈な建物に入り、できるだけ窓から離れたところに避難します。





同時に教員は分担して校内の安全を確認します。設置された本部に次々と情報が集まってきます。

同時に緊急放送回路を使って、生徒や職員に現状を伝えます。どうなっているのか、不安にならないように、との配慮です。





負傷した生徒がいる、との情報に複数の教員が現場に急行します。養護教諭は負傷した生徒の応急処置を施しています。その間に別の教員が校内敷か所に設置された担架を搬入してきました。

Jアラートが解除され、体育館に全員避難して状況終了です。  
避難集合した際は、教員は生徒の前後で安全を確保するとともに、顔色などを絶えず確認しています。  
起こってはほしくないですが、万一の際にはこうした訓練が生きると考えています。

